

次世代研究者挑戦的研究プログラム

イノベーション創出に資する次世代研究者エンパワメントプログラム

第2回採用選考について

審査方針

- (1) 将来を担う優れた博士人材となることが十分に期待できること
- (2) 研究方法が独創的で、標準修業年限内での研究課題設定が適切になされていること
- (3) 当該分野における強みを生かした挑戦的研究能力があること
- (4) 博士号取得後のキャリアと標準修業年限内で培う能力等を明確に自覚していること

審査の流れ

SPRING 運営委員会委員による「2段階の書面審査」方式によって行われます（必要に応じて面接審査を実施する場合があります）。

1段階目の書面審査では、申請書類に基づき、申請者の研究能力・将来性等について評価を行い、評点及び審査意見を付します。1段階目の書面審査の集計結果をもとに、主にボーダーライン付近の申請者を2段階目の書面審査対象とします。

2段階目の書面審査では、1段階目の書面審査において他の審査委員が付した総合評価の評点及び審査意見（覆面）も参考に、改めて同一の審査委員による書面審査を行います。

1段階目の書面審査結果における上位の申請者及び2段階目の書面審査結果における上位の申請者を採用内定者とし、正式採用・支援財源枠を決定します。

審査項目及び評点の付し方

1段階目の書面審査では、審査方針の4つの項目ごとに、絶対評価により4段階の評点（4：優れている、3：良好である、2：普通である、1：見劣りする）を付します。その後、上記の点数を踏まえて、総合的に研究者としての資質及び能力を判断した上で、相対評価により5段階の総合評価の評点（評点は5～1。評点5が最も採用を強く推奨する。）を付します。

2段階目の書面審査では、1段階目の書面審査において他の審査委員が付した総合評価の評点及び審査意見を参考に、改めて相対評価による4段階の評点（2段階目の審査の対象となった申請のうち、A：採用を強く推奨する、B：採用を推奨する、C：採用してもよい、D：A～Cに入らない）を付します。